



鶏けいめい鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

パウロの言葉

「そこで神は、彼らが心の欲望によつて不潔なことをするにまかせられ、そのため、彼らは互いにその体を辱めました」

聖書(ローマ書 1章 2 4 節)

牧師 河合裕志

「そこで」というのは前段を受けている。つまり人々が「滅び去る人間や鳥や獣や這うもの」の像を造って神として拝んでいることを指している。

そこで神は彼らが不潔なことをするに「まかせられ」た、と。まかせる、これは私達の間でもよく行われるところ。「あとの事は君にまかせるよ。思うままにやりなさい」。人から信頼されて任せられることは嬉しいことだけれど、今の場合はどうもあんまり嬉しいというものではなさそう。

これは神の罰といった響きがある。うっちゃる、投げ置くといった感じ。放置、投げ捨てる。不潔なことをするままにさせて置く。罪を犯すに任せる、ここにすでに神の罰が示されているんだよ、ということ。

神の罰というと最後の審判があつてそこで罰を受けるに相当する者が罰を受ける、と言ったりする。しかしパウロによれば罰は将来を待つこともなく今、現在に見られるんだよと言う。それは神がこのヤローと思つてその人に何か痛い目に合わせ

るといふより、不潔なことをすることに自ら好んで陥っている、それ自体が罰を受けていること、罰を自ら招き寄せている、ということ。本人は自覚していないのだけれど神罰を受けている状態だということ。

具体的にはどんなこと? 「女は自然の関係を自然にもとるものに変え、同じく男も、女との自然の関係を捨てて、互いに情欲を燃やし、男どうして恥ずべきことを行い〜」。これは紀元1世紀に多く見られた同性愛を指しているよう。ここには男と女の結びつきが自然の関係、正常といった考えがある。神はアダムとエバを造ったのではないか。「男は父母を離れて女と結ばれ、二人は一体となる」(創世記2章)と記されているのでは? 「産めよ、増えよ」と。

確かにそう。これが本来あるべき姿。ただ中には生まれつき同性愛の傾向をもった人々がいるということについては今日一定の理解が求められる。パウロのように一刀両断に同性愛は悪と決めつけられなくなっている。この点は踏まえておかねば。

ただ情欲を欲しいままに突っ走るといふことには警戒。警戒。不倫行為は避けるべき。レイプなんかもつての外。性の商品化はよくない。どうもわが国はこうした方面にとっぷりつかっているのでは。神の罰に気付かねば。

集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、日曜夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

求道者会：日曜日午前9時40分

中高青年会：日曜日礼拝後

お話し会、卓球：水曜日午後1時～7時

お祈り会：水曜日午前6時、午前10時、午後7時